

# 平成28年度 西ヶ谷戸最終処分場周辺及び 河川水質検査結果報告



※水質検査の様子

村では、人の健康保護と環境保全のために年2回、谷太郎川、小鮎川、金翅川の3河川（5カ所）を定点として、基本的な水質項目の検査を実施しています。

検査項目	○ PH（水素イオン）：PH7が中性で、それより数値が大きいとアルカリ性、小さいと酸性。
	○ BOD（生物化学的酸素要求量）：水のきれいさを示す代表的数値。数値が低いほど良い。
	○ COD（化学的酸素要求量）：水の汚染度を示す数値。数値が低いほど良い。
	○ SS（浮遊物質）：数値が低いほど濁りが少なく、透明度が高い。
	○ DO（溶存酸素量）：数値が高いほど酸素量が多く、汚染源となる有機物が少ないため、数値が高いほど良い。
	○ 大腸菌群数：し尿による汚染を示す数値。数値が低いほど良い。

検査項目		実施日	PH	BOD	COD	SS	DO	大腸菌群数
採水場所	谷太郎川 水の尻沢橋（下流）	平成28年9月29日	7.7	0.3	0.9	<1	9.9	2,400
		平成29年1月23日	7.6	0.4	0.6	<1	12.7	33
採水場所	小鮎川 原下地区	平成28年9月29日	7.8	0.3	1.1	<1	9.9	7,000
		平成29年1月23日	7.9	0.2	0.6	<1	13.3	240
	片原橋（下流）	平成28年9月29日	7.8	0.3	0.8	1	10.0	3,300
		平成29年1月23日	7.9	0.4	0.7	<1	13.3	130
	寺鐘橋（下流）	平成28年9月29日	7.9	0.4	1.0	1	9.7	7,900
		平成29年1月23日	7.8	0.9	1.7	5	12.7	240
金翅川 御門橋（上流）	平成28年9月29日	8.0	0.7	1.3	<1	9.7	4,900	
	平成29年1月23日	8.0	0.6	1.8	<1	12.1	23	
基準値（目標値）			6.5~8.5	2mg/l以下	15mg/l（許容限度）	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MNP/100ml以下

- 記号「<」は、定量下限値未満であることをあらわします。
- 村内の谷太郎川、小鮎川、金翅川では環境基準が定められていないため、相模川中流（相模大橋付近）の水域類型Aを目標値としています。



- PH、BOD、COD、SS、DOの項目全てにおいて、環境基準を満たす数値を計測しました。
- 大腸菌群数の数値が高くなっていますが、河川の水量や鳥獣のふん尿、流域の生活排水などさまざまな影響が考えられます。今後も動向を注視していきます。
- 西ヶ谷戸最終処分場周辺の水質は、環境基準を全て満たしていました。主な結果は次のとおりです。  
PH / 8.0、BOD / 0.3、COD / 1.1、SS / <1  
(採水日は平成29年3月9日、基準値は上記参照)